



We love Kanoya!

# 世界から鹿屋の子どもたちのために!!

皆さんもご存知のとおり、「会議で使う言葉はすべて英語に!」という日本企業が登場するなど、英語という言葉がますます大切になってきています。

このような社会や経済のグローバル化の流れを受けて、文部科学省は、平成23年度から小学校5・6年生の「外国語活動の必修化」を打ち出しました。

市では、以前から小学校で英語教育を先進的に取り組んでいます。今回は、鹿屋市の英語教育への取組と鹿屋市に外国人指導助手として来日している6人のALTを紹介します。

【問い合わせ】市学校教育課 ☎0994-31-1137

## 英語教育に関する市の取組

### かのや英語大好き事業

鹿屋市は、平成16年度から、文部科学省の構造改革特別区域特区の指定を受け、県内でも先進的に一部の小学校（推進校）で英語教育の実践、研究を始めました。

その後、特区の範囲を徐々に広げ、平成20年度からは、教育課程特例校の認定を受け、市内全ての小学校全学年を対象に英語教育を行っています。



▲第一鹿屋中学校でのALTによる授業の様子

また、市全体を5つのブロックに分けて英語教育圏を形成し、各推進校が中心となって授業の研究や教職員の研修を行っています。現在は、全国的にも著名な講師を呼ぶなど、教職員が最先端の英語教育法を学べるような環境を整えています。

### JETプログラム

かのや英語大好き事業のほかに、「語学指導等を行う外国青年招致事業」（通称JETプログラム）を実施しています。

この事業により、外国人指導助手が鹿屋市にも派遣されており、市内の小中学校や高等学校等で英語を教えたり、各自自治体における国際交流事業に参加したりしています。

これにより、諸外国との相互理解を深め、日本の国際化に寄与することが期待されています。

## ALTの役割

市には、現在、ニュージーランド、オーストラリア、イギリス、アメリカの4か国から6人の外国人指導助手（ALT）がいます。

この6人は、子どもたちの英語力やコミュニケーション能力を育成することを目的として、市内の全小中学校と鹿屋女子高等学校で指導を行っています。

ALTによる指導を受けると、

- ALTと日本人の先生との実際の会話を見ること
- よって、外国人とのコミュニケーション能力を身に付けることができます。

- 英語を使う必然性を感じたり、英語をもっと話してみたいという気持ちが強くなります。

- 英語だけでなく、その背景にある文化や習慣、考え方を体感することができます。

以上のようなメリットがあります。

## Interview

### 子どもたちからも信頼の厚い6人のALTに期待

市は、平成16年度に内閣総理大臣から「構造改革特区制度」の認定を県内で唯一受け、かのや英語大好き事業を推進しています。

以前、実施したアンケートでは、市内児童のほとんどが「英語の授業が楽しい」と感じており、また、小学生時代に英語教育を受けた中学1年生の県基礎・基本定着度調査では英語を聞く力が鹿児島県の平均を上回るなど大きな成果をあげることができました。

特に、6人のALTの活躍により、鹿屋市の子どもたちは外国人に臆することなく話しかけられるコミュニケーション能力が身についてきています。

このコミュニケーション能力こそが、国際感覚を高め、国際人として広く世界に旅立ち、様々な分野で活躍していく大きな原動力となるものです。これからのALTの活躍に大きな期待を寄せているところです。



宮下 昭廣 鹿屋市教育長